

(日曜金) 日一十月七年八正大

● 幼児の怪我 サクラメント(十日)

▲ 頸部を馬蹄に懸けられた廣島県人井上又次郎氏が二頭の馬に交まると水を飲ませ先発する腰痛に追ひ込みける折り其の附近に住み居りし長男朝雄(三歳)が如何にいたりけん馬の後脚にて重繼なり普通大人なれば生徒勿論傷痕を印し骨は挫折して入り院せしめば早速當市一ノダル病院に入院せしめばバーンン醫師(手術を受け縫合したる由なるが日下論覺束なきも發育力の旺盛なる児童のこまなれば或は救済するやも知れどこのことなり

● 齋藤太郎氏葬儀 當市東北

人會長故斎藤太郎氏の葬儀は豫報の如く昨日午後三時より同青年會代表田村美雄、日本大會代表佐藤力太郎、蒙老野榮組合代表丹原征夫、友人落合貞十、萩原巳吉及び各縣人會代表者諸氏の吊辭あり親親總齊藤太七氏の挨拶及び工藤開教師の法話ありて式を閉ぢ日本人街いろは亭に於て會香を燃だる由狂人は投身か。福嶋縣人高井長三郎(四十五)はグランド島浅野春三郎氏農園にて就勤中一昨日來精神に異狀を呈し二度も絶死を企てたるより櫻市に送りて狂瀆院に入院せしむる手續を講すべしと相談中の事同人は昨日は人の監視を脱して逃亡せしより所行方を捜索せる各方面の委員左の如し

△ 会代表者野本林蔵、寺尾若尾、小曾根三吉、川口常三郎、山本源一郎、山本喜平、吉田正三郎、黒河平二、三木義三、吉田義三郎、田中吉吉

● 桃を投げて訴へらるる目下同

間葉栗中の電話姫二人が袋自動車の徳者エヌエー。カウチヤーといふ男が電話交換局を出る際に桃を投げ付け怪我をさせ又絹の襯衣を代無しにせりて訴へられたのである又一方の娘の云ふには男は自分等を満足だとか又は過激だとか呼ぶかも桃を投げたのである又一方の娘の云ふには其時自分は恍て知らなかつたが知て桃をところか爆煙

● 頸部を馬蹄に懸けられた廣島県人井上又次郎氏が二頭の馬に交まると水を飲ませ先発する腰痛に追ひ込みける折り其の附近に住み居りし長男朝雄(三歳)が如何にいたりけん馬の後脚にて重繼なり普通大人なれば生徒勿論傷痕を印し骨は挫折して入り院せしめば早速當市一ノダル病院に入院せしめばバーンン醫師(手術を受け縫合したる由なるが日下論覺束なきも發育力の旺盛なる児童のこまなれば或は救済するやも知れどこのことなり

● 齋藤太郎氏葬儀 當市東北

人會長故斎藤太郎氏の葬儀は豫報の如く昨日午後三時より同青年會代表田村美雄、日本大會代表佐藤力太郎、蒙老野榮組合代表丹原征夫、友人落合貞十、萩原巳吉及び各縣人會代表者諸氏の吊辭あり親親總齊藤太七氏の挨拶及び工藤開教師の法話ありて式を閉ぢ日本人街いろは亭に於て會香を燃だる由狂人は投身か。福嶋縣人高井長三郎(四十五)はグランド島浅野春三郎氏農園にて就勤中一昨日來精神に異狀を呈し二度も絶死を企てたるより櫻市に送りて狂瀆院に入院せしむる手續を講すべしと相談中の事同人は昨日は人の監視を脱して逃亡せしより所行方を捜索せる各方面の委員左の如し

△ 会代表者野本林蔵、寺尾若尾、小曾根三吉、川口常三郎、山本源一郎、山本喜平、吉田正三郎、黒河平二、三木義三、吉田義三郎、田中吉吉

● 桃を投げて訴へらるる目下同

間葉栗中の電話姫二人が袋自動車の徳者エヌエー。カウチヤーといふ男が電話交換局を出る際に桃を投げ付け怪我をさせ又絹の襯衣を代無しにせりて訴へられたのである又一方の娘の云ふには其時自分は恍て知らなかつたが知て桃をところか爆煙

（略）

二一四三五八
江戸前
エモ街三〇一番
一三九八
山商
一三九八
小林魚
産院
タフ、
ノツタ
びトワ
田商店内
廿
内(オーキン)
内(電話九四四)
潔、設備完全
の節は是非投宿
式社
1066 1203 櫻

時出張助商店 賣院產時

